

市民参画のまちづくり

笠間市まちづくり教室

だより

問合せ 市民活動課（内線 135） Mail: katsudo@city.kasama.lg.jp

活動報告②

かさまの陶雛
～桃宴～

◆笠間焼陶雛や手づくりによる雛人形

現在開催中の「かさまの陶雛～桃宴～」は、今年で10年目を迎えます。まちづくり教室の座・陶の小径のメンバーが市内の陶芸家、飲食店に呼びかけて始まったもので、20軒余りだった参加店も今回は、53軒を数えます。

今年は10周年記念として、竹を切った中にお雛さまを飾る「かぐや雛」が市内6箇所を設置したマップポストや各参加店でお客様をお迎えしています。また、ワンコインで買うことができる「えんむすび～な」も用意しました。

そして3月3日までの開催期間中は、毎日「お雛さま作りワークショップ」が開催されています。飲食店では、お雛さまメニューが用意され、美術館や笠間稲荷神社周辺、介護施設ではつるし飾り等が飾られます。

このようにいろいろな楽しみ方ができる「桃宴」で笠間散策をしながら、ひと足早い春をお楽しみいただければと思います。



かぐや雛



陶雛（ふくだ製陶）

茨城空港

今年3月11日に茨城空港が開港します。茨城空港については、さまざまな県民の意見があります。建設に反対、赤字運営の見込み、就航路線不足、将来の県民負担への憂慮など、大変厳しい意見が多く聞かれます。

空港が計画され、推進されてきた時期、私は県議会で活動していました。利用客の見込み、空港の必要性など、当時議論が交わされ、全体としては推進の意見が多かったと思います。

当時とは地方空港を取り巻く状況が大きく変化しました。世界的な景気の低迷、航空会社の経営状況悪化、公共投資に対する意識の変化など、厳しさが増すばかりであります。

しかし、一方で、少子高齢化が進む日本社会においては、国内、県内の活性化を求める方法として、外国特にアジア、新興国との産業・人的交流を拡大することは重要であり、玄関口として茨城空港の果たす役割はあるものと思います。

開港を3月に迎える中で、県において路線の拡大

こんにちは市長室です



山口市長



陶芸のマラソン大会に参加、スタート風景

や責任ある経営を行っていただきたいです。本市も空港をいかに有効に活用するかを考え、地域活性化に取り組みなければなりません。たとえば、韓国ソウル付近の焼物の街イチョンとの陶芸交流や国際交流、市内観光施設やゴルフ場への外国人誘客、茨城空港周辺地域資源推進連絡会等との取り組みを通して、地域経済へのプラス効果を導き出してまいります。

皆さんもいい知恵がありましたら、お貸し願います。また、ぜひ、一度利用してみましょう。

笠間市長
山口伸樹